



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
コード番号 9994 URL https://www.yamaya.jp
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	38,910	6.8	1,322	224.0	1,362	185.6	797	93.6
2023年3月期第1四半期	36,417	3.9	408	87.7	477	△85.9	412	△75.4

(注) 包括利益2024年3月期第1四半期 849百万円 (294.2%) 2023年3月期第1四半期 215百万円 (△90.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	73.59	—
2023年3月期第1四半期	38.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	60,073	30,159	48.9
2023年3月期	59,275	29,592	48.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 29,362百万円 2023年3月期 28,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	78,900	4.1	1,760	229.2	1,810	192.4	950	68.2	87.64
通期	156,800	2.6	3,860	36.0	3,900	32.0	2,250	16.6	207.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	10,847,870株	2023年3月期	10,847,870株
2024年3月期1Q	6,322株	2023年3月期	6,242株
2024年3月期1Q	10,841,554株	2023年3月期1Q	10,841,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除され、景気が緩やかに回復に向かう一方で、ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、物価の高騰などによる影響で依然として不透明な状況が続いております。

経済活動の正常化に伴い、消費者の外食需要が回復したことに加え、インバウンド需要も堅調に推移し、当社の外食事業の業績も、コロナ禍以前の水準には届かないものの順調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応し、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、さまざまなライフスタイルに対応できる商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高389億10百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益13億22百万円(前年同期比224.0%増)となりました。経常利益は、13億62百万円(前年同期比185.6%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億97百万円(前年同期比93.6%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末において、酒販事業352店(前年同期比7店増)、外食事業657店(同53店減)、グループ合計店舗数1,009店(同46店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は321億96百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は9億85百万円(同8.8%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間は、コロナ禍での巣ごもり需要は減少したものの、イベントの再開、外食の回復により料飲店様の需要は、回復傾向となり、売上高は堅調に推移しました。

ゴールデンウィークの行楽需要が復活し、久しぶりの再会や帰省に備え、「手土産」「持ち帰りギフト」など地域の特性を活かした展開を行いました。また、外国人観光客向け消費税免税Tax free Shop店を344店(その内、駐日外国公館員を対象とする免税指定DS店を77店)に増やしました。

「やまや沖野店(宮城県仙台市)」の改装を行い、生活用品を販売するダイソーを併設して「新しいやまや」のモデル店舗としてリニューアルオープンいたしました。

新規出店として、小山城南店(栃木県)を開店し、2023年6月末における酒販事業の店舗数は、352店舗(前年同期比7店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は67億83百万円(前年同期比32.8%増)、営業利益は3億33百万円(前年同期は営業損失5億円)となりました。

外食業界におきましては、ライフスタイルの変化、お客様の消費行動の変化、各種値上がりへの対応などの課題はあるものの、確実に需要回復の兆しが見えております。このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、お客様に満足してお帰りいただき、また来たいと思っていただけるよう、QSCA(品質・サービス・清潔・雰囲気)に一層の磨きをかけてまいりました。居酒屋需要が回復基調に転じた昨年から取り組んでいるWEB販促、インバウンド団体や国内旅行団体の集客につきましても順調に推移しており、業績の回復に寄与しております。また、原材料価格の上昇に対しては、引き続きメニュー粗利ミックス、食材アイテム数の集約により、コストの上昇を最小限に抑制するよう努めました。店舗開発としましては、コロナ禍において控えていた直営店の新規出店を再開し、当第1四半期連結累計期間において1店舗出店するとともに、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップをすすめてまいりました。

2023年6月末の外食事業直営店は、349店(前年同期比22店減)、飲食FC店は、308店(同31店減)となり、飲食店の総店舗数は、657店(同53店減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて7億98百万円(1.3%)増加し、600億73百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が7億6百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて12億1百万円(3.3%)増加し、376億82百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて4億3百万円(Δ 1.8%)減少し、223億91百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて2億30百万円(0.8%)増加し、299億14百万円となりました。

流動負債は、買掛金で3億9百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて2億75百万円(1.2%)増加し、232億33百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて45百万円(Δ 0.7%)減少し、66億80百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて5億67百万円(1.9%)増加し、301億59百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の48.7%から48.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「2024年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,745	12,007
売掛金	5,102	5,325
商品及び製品	17,780	18,486
仕掛品	67	67
原材料及び貯蔵品	38	36
前払費用	859	797
その他	1,131	1,183
貸倒引当金	△243	△221
流動資産合計	36,481	37,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,165	29,090
減価償却累計額	△24,159	△24,106
建物及び構築物 (純額)	5,006	4,983
機械装置及び運搬具	2,039	1,875
減価償却累計額	△1,922	△1,766
機械装置及び運搬具 (純額)	117	108
工具、器具及び備品	9,489	9,530
減価償却累計額	△8,702	△8,737
工具、器具及び備品 (純額)	787	793
リース資産	1,693	1,680
減価償却累計額	△1,531	△1,524
リース資産 (純額)	161	155
土地	4,618	4,618
建設仮勘定	14	14
有形固定資産合計	10,706	10,673
無形固定資産		
ソフトウェア	45	44
のれん	1,975	1,930
その他	24	24
無形固定資産合計	2,046	2,000
投資その他の資産		
投資有価証券	807	725
関係会社株式	852	899
破産更生債権等	318	311
長期前払費用	109	109
退職給付に係る資産	64	69
差入保証金	7,156	7,078
繰延税金資産	941	731
その他	107	101
貸倒引当金	△315	△308
投資その他の資産合計	10,041	9,717
固定資産合計	22,794	22,391
資産合計	59,275	60,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,304	10,614
短期借入金	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	155	163
リース債務	33	28
未払金	1,586	1,739
未払費用	813	838
未払法人税等	999	191
未払消費税等	511	598
預り金	243	475
賞与引当金	718	348
その他	590	1,235
流動負債合計	22,957	23,233
固定負債		
長期借入金	2,786	2,744
退職給付に係る負債	314	317
リース債務	147	142
役員退職慰労引当金	658	663
資産除去債務	1,551	1,557
繰延税金負債	22	13
その他	1,243	1,240
固定負債合計	6,725	6,680
負債合計	29,683	29,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	19,569	20,085
自己株式	△8	△9
株主資本合計	28,623	29,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227	224
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	225	223
非支配株主持分	743	797
純資産合計	29,592	30,159
負債純資産合計	59,275	60,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	36,417	38,910
売上原価	26,860	27,814
売上総利益	9,556	11,095
販売費及び一般管理費	9,148	9,773
営業利益	408	1,322
営業外収益		
受取利息	1	1
受取手数料	13	17
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	—	2
雇用調整助成金	36	—
新型コロナウイルス拡大防止協力金	21	—
その他	44	45
営業外収益合計	126	76
営業外費用		
支払利息	27	20
店舗改装費用	4	8
店舗閉鎖損失	1	0
持分法による投資損失	10	—
その他	13	6
営業外費用合計	57	35
経常利益	477	1,362
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	—	2
減損損失	35	84
その他	1	18
特別損失合計	37	105
税金等調整前四半期純利益	439	1,257
法人税、住民税及び事業税	99	170
法人税等調整額	156	171
法人税等合計	255	342
四半期純利益	184	915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△228	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	797

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	184	915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△66
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	31	△65
四半期包括利益	215	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427	795
非支配株主に係る四半期包括利益	△211	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,310	5,107	36,417	—	36,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	—	63	△63	—
計	31,373	5,107	36,480	△63	36,417
セグメント利益又は 損失(△)	906	△500	405	2	408

(注)1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において13百万円、「外食事業」において22百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,126	6,783	38,910	—	38,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	—	69	△69	—
計	32,196	6,783	38,979	△69	38,910
セグメント利益	985	333	1,319	2	1,322

(注)1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において11百万円、「外食事業」において73百万円であります。